



展示会中に開いた1日体験教室

町民や札幌などの水墨画愛好者がつくる北海道趣墨会（高尾桂会長）

が主催する「第38回北海道趣墨会展in洞爺湖—水墨&墨彩・書画展一」が、10月14日～24日まで、役場ロビーで開催されました。

町内会員の作品63点と中国、韓国からの作品、それに札幌国際選抜展で北海道新聞社賞を受賞した作品など計86点の水墨画、現代彩画、書画などが展示されました。

筆を使わず、墨を流し込む技法で描いた水墨画や墨に朱を彩ってコントラストを出した彩墨画など訪れた人たちの目を釘付けにしていました。

水墨画86点展示 北海道趣墨会展in洞爺湖

虻田中生徒が清掃のボランティア活動 地域社会への意識を高める

虻田中学校（名須川敏雄校長）が、秋の恒例行事として取り組んでいる前浜の海岸清掃ボランティア活動を、10月18日に行いました。

地域の一員としての意識を高め、思いやりの心を育てようと始められたもので、今年は約70人の生徒が参加しました。

当日は、バレー部、バドミントン部、サッカー部、吹奏楽部の各部員と各学年のC組の生徒が、赤川から豊浦方面約1^きにわたって1時間ほどかけて清掃活動を行い、ペットボトル、空き缶や流れ着いたプラスチック製品を拾い集めました。



清掃活動に取り組む虻田中生徒

真剣勝負で盛り上がる 高齢者運動会

スポーツの秋の恒例イベント第9回洞爺湖町高齢者運動会（同実行委員会主催）が、10月20日あぶた体育館で開催されました。同運動会には、町内から65歳以上の男女約170人が参加し、個人競技や団体競技での真剣勝負に楽しひひとときを過ごしました。

当日は、赤、青、黄、緑の4グループに分かれ、「大玉ころがし」「バケツリレー」「紅白玉入れ」など昼食をはさんで7種目を実施。



バケツリレーを楽しむ参加者の皆さん

参加した皆さんは、応援を背に一つひとつの競技に元気に取り組んでいました。



黙とうをささげる温泉小学校の児童たち

昭和53年に発生した有珠山泥流災害で犠牲となった温泉小学校の

児童を追悼する防災教育「噴火慰霊祭」が、10月24日、洞爺湖温泉小学校（古瀬達郎校長）で行われました。

昭和52年の有珠山噴火の翌年となる36年前の昭和53年10月24日に、豪雨で大規模な泥流が洞爺湖温泉に発生。母子2人が犠牲、洞爺湖温泉小学校2年（当時）の児童が行方不明となりました。

同小学校では、毎年この日に慰霊祭を実施し、犠牲となった児童を悼み、防災への意識を高めてきました。

今年は、全校児童51人が校内で黙とうを捧げた後、火山科学館に移動し、防災について学習しました。

温泉小で噴火慰霊祭 有珠山泥流犠牲者を追悼



まちのわだい